

(添付資料)

資料 1	白梅学園大学 2020 年度～2022 年度 志願者数 (都道府県別)	・・・ p. 2
資料 2	首都圏における 18 歳人口動態	・・・ p. 3
資料 3	大学進学者数・進学率 (現役) の推移 (東京都・埼玉県)	・・・ p. 3
資料 4	学科系統のマーケットトレンド	・・・ p. 4
資料 5	【高校生】 就きたい職業ランキング	・・・ p. 5
資料 6	【保護者】 就いて欲しい職業ランキング	・・・ p. 5
資料 7	2022 年公務員実就職率ランキング	・・・ p. 6
資料 8	白梅学園大学子ども学部 2018 年度～2022 年度学生募集状況	・・・ p. 7
資料 9	白梅学園大学 「子ども学部」 (仮称) 設置に関するニーズ調査 結果報告書【高校生対象調査】	・・・ p. 8
資料 10	保育所の利用児童数の今後の見込み	・・・ p. 27
資料 11	保育士の有効求人倍率の推移	・・・ p. 28
資料 12	婚姻・離婚の動向③	・・・ p. 29
資料 13	母子世帯と父子世帯数の推計 (全国・東京都)	・・・ p. 30
資料 14	外国籍等の子どもの入園の有無	・・・ p. 31
資料 15	保育所等訪問支援利用者推移	・・・ p. 32
資料 16	児童発達支援事業所利用者推移	・・・ p. 32
資料 17	放課後デイサービス利用者数推移	・・・ p. 32
資料 18	公立小・中学校の採用者数の推移と見通し	・・・ p. 33
資料 19	特別支援学級の児童生徒数・学級数	・・・ p. 34
資料 20	通級による指導を受けている児童生徒数の推移	・・・ p. 35

【資料1】

白梅学園大学 2020年度～2022年度 志願者数
(都道府県別 ※出身高校所在地)

データ元:白梅学園大学 作成

都道府県	年度						3年度合計	
	2020		2021		2022			
東京都	424	71.0%	439	69.6%	338	73.8%	1,202	71.2%
埼玉県	61	10.2%	50	7.9%	40	8.7%	151	9.0%
山梨県	19	3.2%	26	4.1%	20	4.4%	65	3.9%
神奈川県	21	3.5%	25	4.0%	10	2.2%	56	3.3%
長野県	6	1.0%	16	2.5%	10	2.2%	32	1.9%
新潟県	15	2.5%	9	1.4%	3	0.7%	27	1.6%
千葉県	10	1.7%	14	2.2%	3	0.7%	27	1.6%
茨城県	6	1.0%	9	1.4%	4	0.9%	19	1.1%
北海道	3	0.5%	4	0.6%	2	0.4%	9	0.5%
福島県	3	0.5%	4	0.6%	2	0.4%	9	0.5%
沖縄県	1	0.2%	1	0.2%	6	1.3%	8	0.5%
山形県	3	0.5%	1	0.2%	3	0.7%	7	0.4%
栃木県	1	0.2%	4	0.6%	2	0.4%	7	0.4%
静岡県	3	0.5%	4	0.6%	0	0.0%	7	0.4%
愛媛県	0	0.0%	3	0.5%	3	0.7%	6	0.4%
岐阜県	4	0.7%	0	0.0%	1	0.2%	5	0.3%
福岡県	0	0.0%	5	0.8%	0	0.0%	5	0.3%
青森県	0	0.0%	4	0.6%	0	0.0%	4	0.2%
宮城県	0	0.0%	1	0.2%	3	0.7%	4	0.2%
奈良県	0	0.0%	1	0.2%	3	0.7%	4	0.2%
徳島県	4	0.7%	0	0.0%	0	0.0%	4	0.2%
群馬県	0	0.0%	0	0.0%	3	0.7%	3	0.2%
三重県	0	0.0%	3	0.5%	0	0.0%	3	0.2%
大阪府	3	0.5%	0	0.0%	0	0.0%	3	0.2%
山口県	0	0.0%	3	0.5%	0	0.0%	3	0.2%
鹿児島県	1	0.2%	1	0.2%	1	0.2%	3	0.2%
秋田県	2	0.3%	0	0.0%	0	0.0%	2	0.1%
福井県	0	0.0%	2	0.3%	0	0.0%	2	0.1%
岡山県	2	0.3%	0	0.0%	0	0.0%	2	0.1%
広島県	2	0.3%	0	0.0%	0	0.0%	2	0.1%
熊本県	1	0.2%	1	0.2%	0	0.0%	2	0.1%
岩手県	0	0.0%	0	0.0%	1	0.2%	1	0.1%
愛知県	1	0.2%	0	0.0%	0	0.0%	1	0.1%
高知県	0	0.0%	1	0.2%	0	0.0%	1	0.1%
佐賀県	1	0.2%	0	0.0%	0	0.0%	1	0.1%
富山県	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
石川県	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
滋賀県	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
京都府	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
兵庫県	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
和歌山県	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
鳥取県	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
島根県	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
香川県	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
長崎県	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
大分県	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
宮崎県	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
総計	597	100.0%	631	100.0%	458	100.0%	1,688	100.0%

※高等学校卒業程度認定試験合格者、社会人、外国人留学生の受験生を除く

【資料2】

首都圏における18歳人口動態

〒一タ元：文部科学省「学校基本調査」

	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	2030年度	2031年度	2032年度	2033年度	2034年度
(A) 首都圏	299,356	294,497	287,188	296,737	299,307	297,845	296,090	295,868	290,004	289,532	288,232	290,267	288,970
2022年度を100とした指数	100.0	98.4	95.9	99.1	100.0	99.5	98.9	98.8	96.9	96.7	96.3	97.0	96.5
東京都	104,018	102,330	100,279	104,486	106,218	106,573	106,969	104,162	102,970	103,807	105,114	106,974	106,767
埼玉県	63,542	62,543	61,198	62,946	62,970	62,178	61,836	62,022	60,188	59,917	59,701	59,210	59,089
神奈川県	77,892	76,186	74,296	76,365	77,058	76,099	75,211	77,244	75,284	75,199	73,480	73,950	73,263
千葉県	53,904	53,438	51,415	52,940	53,061	52,995	52,074	52,440	51,562	50,809	49,937	50,133	49,851
(B) 東京都+埼玉県	167,560	164,873	161,477	167,432	169,188	168,751	168,805	166,184	163,158	163,724	164,815	166,184	165,856
2022年度を100とした指数	100.0	98.4	96.4	99.9	101.0	100.7	100.7	99.2	97.4	97.7	98.4	99.2	99.0
(C) 全国	1,121,285	1,097,416	1,063,451	1,090,562	1,092,647	1,084,271	1,068,477	1,068,876	1,050,143	1,034,714	1,023,592	1,013,581	1,005,782
2022年度を100とした指数	100.0	97.9	94.8	97.3	97.4	96.7	95.3	95.3	93.7	92.3	91.3	90.4	89.7

【全国との指数比較】

首都圏	(A)-(C)	0.0	0.5	1.1	1.9	2.5	3.2	3.5	3.6	4.4	5.0	6.6	6.8
東京都+埼玉県	(B)-(C)	0.0	0.5	1.5	2.7	3.5	3.7	3.9	5.5	5.4	7.1	8.8	9.3

【資料3】

大学進学者数・進学率(現役)の推移(東京都・埼玉県)

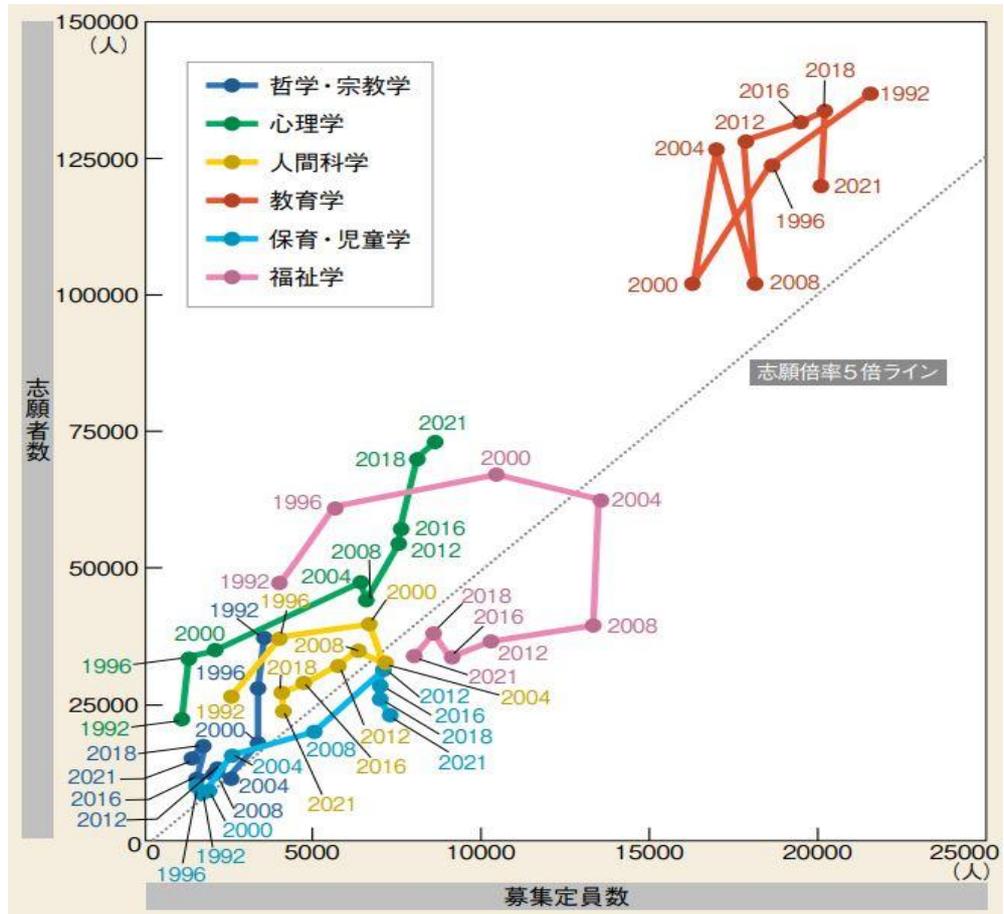
〒一タ元：文部科学省「学校基本調査」

	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年
東京都+埼玉県	160,177	154,416	158,575	158,708	160,724	159,898	159,856	157,924	155,182	153,907
卒業者数	93,303	91,109	94,833	94,885	96,242	94,472	95,257	96,245	98,515	101,876
大学進学者数	58.2%	59.0%	59.8%	59.8%	59.9%	59.1%	59.6%	60.9%	63.5%	66.2%
卒業者数	102,657	99,359	101,482	101,558	103,462	102,928	102,864	101,281	100,084	99,854
大学進学者数	63,798	62,684	64,973	65,084	65,931	64,435	65,016	65,530	67,301	69,746
大学進学率(現役)	62.1%	63.1%	64.0%	64.1%	63.7%	62.6%	63.2%	64.7%	67.2%	69.8%
卒業者数	57,520	55,057	57,093	57,150	57,262	56,970	56,992	56,643	55,098	54,053
大学進学者数	29,505	28,425	29,860	29,801	30,311	30,037	30,241	30,715	31,214	32,130
大学進学率(現役)	51.3%	51.6%	52.3%	52.1%	52.9%	52.7%	53.1%	54.2%	56.7%	59.4%

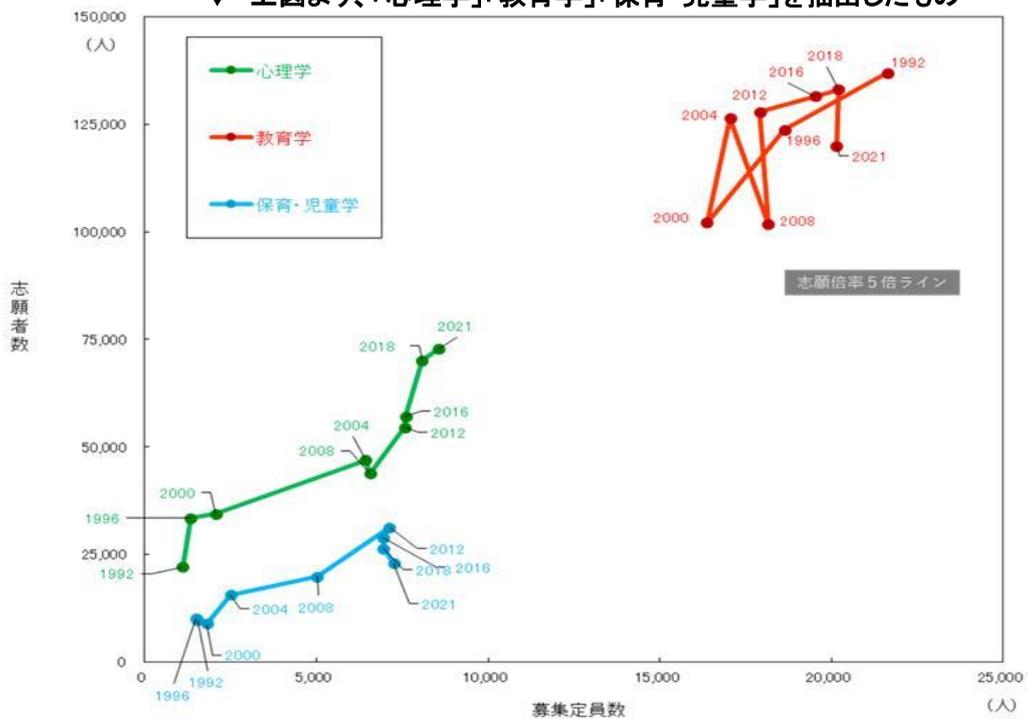
【資料4】

学科系統のマーケットトレンド

出典元:リクルート進学総研「学部・学科トレンド 2021」



▼ 上図より、「心理学」「教育学」「保育・児童学」を抽出したもの



【資料5】

【高校生】就きたい職業ランキング

(就きたい職業が「ある」かつ 職業回答者/自由回答)

全体	(n=873)
1 公務員	80 9.2%
2 教師	79 9.0%
3 建築士・建築関連	60 6.9%
4 医師・歯科医師・獣医	53 6.1%
5 保育士・幼稚園教諭・幼児保育関連	52 6.0%
6 看護師	51 5.8%
7 薬剤師	38 4.4%
8 技術者・研究者	35 4.0%
9 美容師・ヘアメイクアーティスト・美容関連	25 2.9%
10 イラストレーター・アニメーター・ゲーム関連	23 2.6%
11 会社員	22 2.5%
12 理学療法士・作業療法士・言語聴覚士・リハビリ	21 2.4%
13 俳優・ミュージシャン・声優・芸能関連	20 2.3%
14 エンジニア・プログラマー・IT関連	18 2.1%
製造業(自動車・造船など)	18 2.1%
16 トリマー・動物関連	16 1.8%
17 調理師・シェフ・パティシエ・フード関連	15 1.7%
18 学校職員・塾講師・教育関連	14 1.6%
インストラクター・スポーツトレーナー	14 1.6%
プロスポーツ選手・スポーツ関連	14 1.6%

男子	(n=361)
1 建築士・建築関連	47 13.0%
2 公務員	39 10.8%
3 教師	32 8.9%
4 技術者・研究者	23 6.4%
5 医師・歯科医師・獣医	22 6.1%
6 エンジニア・プログラマー・IT関連	18 5.0%
7 製造業(自動車・造船など)	16 4.4%
8 薬剤師	15 4.2%
9 イラストレーター・アニメーター・ゲーム関連	13 3.6%
10 理学療法士・作業療法士・言語聴覚士・リハビリ	11 3.0%
プロスポーツ選手・スポーツ関連	11 3.0%

女子	(n=480)
1 保育士・幼稚園教諭・幼児保育関連	49 10.2%
2 教師	40 8.3%
看護師	40 8.3%
4 公務員	36 7.5%
5 医師・歯科医師・獣医	30 6.3%
6 薬剤師	21 4.4%
7 美容師・ヘアメイクアーティスト・美容関連	20 4.2%
8 会社員	18 3.8%
9 俳優・ミュージシャン・声優・芸能関連	14 2.9%
10 建築士・建築関連	12 2.5%

【資料6】

【保護者】就いてほしい職業ランキング

(就いてほしい職業が「ある」かつ 職業回答者/自由回答)

全体	(n=191)
1 公務員	70 36.6%
2 看護師	20 10.5%
3 医師・歯科医師・獣医	17 8.9%
医療事務・医療関連	17 8.9%
5 薬剤師	10 5.2%
6 教師	8 4.2%
保育士・幼稚園教諭・幼児保育関連	8 4.2%
8 技術者・研究者	7 3.7%
9 理学療法士・作業療法士・言語聴覚士・リハビリ	6 3.1%
10 エンジニア・プログラマー・IT関連	4 2.1%
11 建築士・建築関連	3 1.6%
12 学校職員・塾講師・教育関連	2 1.0%
救急救命士	2 1.0%
社会福祉士・介護福祉士・福祉関連	2 1.0%
会社員	2 1.0%
16 弁護士・裁判官・法律関係	1 0.5%
会計士・税理士・行政書士	1 0.5%
歯科衛生士・歯科技工士	1 0.5%
放射線技師・臨床検査技師	1 0.5%
管理栄養士・栄養士	1 0.5%
保健師	1 0.5%
通訳・翻訳・語学・国際関連	1 0.5%
俳優・ミュージシャン・声優・芸能関連	1 0.5%
店員・テーマパーク・サービス関連	1 0.5%
食品関連(加工・開発・製造など)	1 0.5%
デザイナー・設計士	1 0.5%
社長・経営者・起業家	1 0.5%

子どもの性別:男子	(n=84)
1 公務員	36 42.9%
2 医師・歯科医師・獣医	9 10.7%
3 医療事務・医療関連	8 9.5%
4 看護師	5 6.0%
薬剤師	5 6.0%
6 技術者・研究者	4 4.8%
7 建築士・建築関連	3 3.6%
8 教師	2 2.4%
理学療法士・作業療法士・言語聴覚士・リハビリ	2 2.4%
エンジニア・プログラマー・IT関連	2 2.4%

子どもの性別:女子	(n=106)
1 公務員	34 32.1%
2 看護師	15 14.2%
3 医療事務・医療関連	9 8.5%
4 保育士・幼稚園教諭・幼児保育関連	8 7.5%
医師・歯科医師・獣医	8 7.5%
6 教師	6 5.7%
7 薬剤師	5 4.7%
8 理学療法士・作業療法士・言語聴覚士・リハビリ	4 3.8%
9 技術者・研究者	3 2.8%
10 社会福祉士・介護福祉士・福祉関連	2 1.9%
エンジニア・プログラマー・IT関連	2 1.9%

出典元:リクルート進学総研「高校生と保護者の進路に関する意識調査 2021」

【資料 7】

2022 公務員実就職率ランキング (2022 年 10 月 31 日 大学通信調べ)

全国順位	関東順位	大学	所在地	公務員実就職率 (%)
1		山口学芸大	山口	68.0
2	1	日本文化大	東京	48.8
3		岐阜聖徳学園大	岐阜	48.0
4		常磐会学園大	大阪	43.3
5		大和大	大阪	39.4
6	2	白梅学園大	東京	38.3

		全国	首都圏 (1都6県)	東京都
2022年	公務員実就職率順位	私立大	6	2
	調査校数	全大学	743	238
		私立大	570	209

【資料8】

白梅学園大学 子ども学部 2018年度～2022年度 学生募集状況

(単位:人)

入学定員 学部225人	子ども学部 学科(入学定員)	年度					5力年平均
		2018	2019	2020	2021	2022	
志願者数	子ども学科(135)	475	441	531	504	375	465.2
	発達臨床学科(50)	258	235	286	290	168	247.4
	家族・地域支援学科(40)	110	105	164	184	97	132.0
合格者数	子ども学科(135)	257	263	226	194	204	228.8
	発達臨床学科(50)	96	90	110	94	77	93.4
	家族・地域支援学科(40)	50	54	64	69	52	57.8
入学者数	子ども学科(135)	148	154	147	137	142	145.6
	発達臨床学科(50)	64	60	53	53	45	55.0
	家族・地域支援学科(40)	24	32	42	50	36	36.8
入学定員充足率	子ども学科(135)	109.6%	114.1%	108.9%	101.5%	105.2%	107.9%
	発達臨床学科(50)	128.0%	120.0%	106.0%	106.0%	90.0%	110.0%
	家族・地域支援学科(40)	60.0%	80.0%	105.0%	125.0%	90.0%	92.0%
	子ども学部(225)	104.9%	109.3%	107.6%	106.7%	99.1%	105.5%

白梅学園大学
「子ども学部」(仮称)
設置に関するニーズ調査
結果報告書
【高校生対象調査】

令和4年12月
株式会社 進研アド

-学生確保資料8-

高校生対象 調査概要

1. 調査目的

2024年4月開設予定の白梅学園大学「子ども学部」新設構想に関して、高校生からの進学ニーズを把握する。

2. 調査概要

		高校生対象調査
調査対象		高校2年生
調査エリア		埼玉県、東京都、山梨県
調査方法		高校留置き調査
調査対象数	依頼数 (依頼校数)	5,578人(39校)
	有効回収数 (回収校数)	4,299人(36校) 有効回収率:77.1%
調査時期		2022年9月6日(火)～2022年10月13日(木)
調査実施機関		株式会社 進研アド

3. 調査項目

高校生対象調査
<ul style="list-style-type: none">・性別・高校種別・高校所在地・所属クラス・高校卒業後の希望進路・興味のある学問系統・白梅学園大学「子ども学部」の特色に対する魅力度・白梅学園大学「子ども学部」への受験意向・白梅学園大学「子ども学部」への入学意向

高校生対象 調査結果まとめ



高校生対象 調査結果まとめ

回答者の属性

※本調査は、白梅学園大学「子ども学部」に対する需要を確認するための調査として設計。白梅学園大学の主な学生募集エリアである埼玉県、東京都、山梨県に所在する高校の高校2年生に調査を実施し、4,299人から回答を得た。

- 回答者の性別は、「男性」が41.9%、「女性」が57.7%である。
- 回答者の在籍高校種別は「公立」が62.6%、「私立」が37.4%である。
- 回答者の在籍高校所在地は、白梅学園大学の所在地である「東京都」が88.7%で最も多い。次いで「埼玉県」が10.5%、「山梨県」が0.8%と続く。
- 回答者の所属クラスは「文系クラス(文系コース)」が42.7%を占め、最も多い。次いで「コース選択はない」が31.1%、「理系クラス(理系コース)」が14.3%と続く。

高校卒業後の希望進路や興味のある学問系統

- 回答者の高校卒業後の希望進路を複数回答で聴取したところ、「私立大学に進学」の割合が69.5%で最も高い。次いで「専門学校・専修学校に進学」が31.4%、「国公立大学に進学」が28.1%と続く。私立大学への進学志望者が多いことから、白梅学園大学がターゲットとする対象に調査を実施出来ていると考えられる。
- 回答者の興味のある学問系統を複数回答で聴取したところ、「経済・経営・商学」が24.6%で最も高い。次いで白梅学園大学「子ども学部 子ども心理学科」の学びと関連する「心理学」が20.9%、「その他」を除けば「文学(哲学、歴史学、地理学、文化学含む)」と「子ども学部 子ども心理学科」の学びと関連する「児童学・保育学」が同率で14.5%と続く。「子ども学部 教育学科」の学びと関連する「教員養成・教育学」は13.1%。

高校生対象 調査結果まとめ

白梅学園大学「子ども学部」の特色に対する魅力度

- 白梅学園大学「子ども学部」の特色に対する魅力度(※)は、全ての項目で6割を超える。
- 子ども心理学科の特色のうち魅力度がより高いのは、「A. 赤ちゃんから大人までの生涯発達について理解を深め、発達における困難や心理的困難を抱える人々をサポートできる専門性を身につけられる。」(67.7%)である。
「B. 心理学を基本としながら、幼稚園教諭免許状と保育士資格の取得を目指し、現代の保育・幼児教育に必要な子どもと家族への心理的援助を学ぶことができる。」は67.5%である。
- 教育学科の特色で最も魅力度が高いのは、「E. 現代の学校教育における様々な課題の解決に向けた知識と一人ひとりの子どもが自己実現を図ることのできる学習・生徒指導方法を学び、地域と学校で連携・協働し、社会全体で子どもを支援し育むための知識と技術を学べる。」(66.5%)である。

次に魅力度が高いのは、「C. 子どもの成長・発達や子どもを取り巻く環境、多様化した学校教育の課題について理解を深め、小学校教育・特別支援教育・中学校教育における子どもの豊かな学びを実現するために必要な資質・能力を育成するための専門性を学べる学科である。」(66.3%)、さらに「D. 学校教員を目指し、1年生より学校インターンシップで学校現場について学び、教育に関する思想や制度、各教科の専門的知識や指導法、子ども理解のための方法論、子どもや教育をめぐる問題の理解と、その解決方法を学べる。」(64.8%)と続く。

※魅力度＝「とても魅力を感じる」「ある程度魅力を感じる」と回答した人の合計値

高校生対象 調査結果まとめ

白梅学園大学「子ども学部」への受験意向・入学意向

- 白梅学園大学「子ども学部」を「受験したいと思う」と答えた人は、11.0% (4,299人中、**473人**)である。
- 白梅学園大学「子ども学部」を「受験したいと思う」と答えた473人のうち、白梅学園大学「子ども学部」の「子ども心理学科に入学したい」と回答した人は、51.2% (**242人**)、「教育学科に入学したい」と回答した人は、35.7% (**169人**)である。

白梅学園大学「子ども学部 子ども心理学科」への入学意向者数

※ここからは、白梅学園大学「子ども学部」に対して、Q4で「受験したいと思う」と回答し、かつ、Q5で「子ども心理学科に入学したい」と回答した人を白梅学園大学「子ども学部 子ども心理学科」の入学意向者と定義し、分析を行う。

- 回答者全体における「子ども学部 子ども心理学科」への入学意向は5.6% (**242人**)で、予定している入学定員数40人を大きく上回る入学意向者がみられた。

<属性別>

◇性別

- 「男性」の回答者の入学意向は2.4% (1,802人中、**44人**)と、予定している入学定員数を上回る入学意向者がみられた。「女性」の回答者の入学意向は8.0% (2,481人中、**198人**)と、予定している入学定員数を4倍以上上回る入学意向者がみられた。

◇高校所在地別

- 白梅学園大学の所在地である「東京都」の高校在籍者からの入学意向は5.4% (3,813人中、**205人**)と、予定している入学定員数を大きく上回る入学意向者がみられた。

高校生対象 調査結果まとめ

◇所属クラス別

- 「文系クラス(文系コース)」に所属している回答者の入学意向は7.6%(1,836人中、**139人**)と、予定している入学定員数を3倍以上上回る入学意向者がみられた。

◇高校卒業後の希望進路別

- 白梅学園大学を受験・入学する可能性が高い「私立大学に進学」を考えている回答者の入学意向は5.7%(2,988人中、**169人**)と、予定している入学定員数を4倍以上上回る入学意向者がみられた。「国公立大学に進学」を考えている回答者の入学意向は5.3%(1,207人中、**64人**)と、予定している入学定員数を上回る入学意向者がみられた。

◇白梅学園大学「子ども学部」の特色に対する魅力度別

- 白梅学園大学「子ども学部 子ども心理学科」の特色に魅力を感じている回答者の入学意向は、いずれの特色も8.1%であり、入学意向者数はすべて、予定している入学定員数を大きく上回る入学意向者がみられた。

さらに精緻な条件下での、白梅学園大学「子ども学部 子ども心理学科」への入学意向者数

※入学意向者の条件をさらに精緻に設定して、Q1で「私立大学に進学」と回答し、かつ、Q2で「児童学・保育学」「心理学」のいずれかに興味があると回答した、白梅学園大学「子ども学部 子ども心理学科」の入学意向者について分析する。

- 回答者全体における精緻な条件下での入学意向は14.5%(961人中、**139人**)で、予定している入学定員数を3倍以上上回る入学意向者がみられた。ターゲットの条件をより精緻に限定した場合でも、予定している入学定員数を3倍以上上回る入学意向者がみられた。

高校生対象 調査結果まとめ

白梅学園大学「子ども学部 教育学科」への入学意向者数

※ここからは、白梅学園大学「子ども学部」に対して、Q4で「受験したいと思う」と回答し、かつ、Q5で「教育学科に入学したい」と回答した人を白梅学園大学「子ども学部 教育学科」の入学意向者と定義し、分析を行う。

- 回答者全体における「子ども学部 教育学科」への入学意向は3.9% (169人)で、予定している入学定員数50人を3倍以上上回る入学意向者がみられた。

<属性別>

◇性別

- 「男性」の回答者の入学意向は3.3% (1,802人中、**60人**)と、予定している入学定員数を上回る入学意向者がみられた。「女性」の回答者の入学意向は4.4% (2,481人中、**108人**)と、予定している入学定員数を2倍以上上回る入学意向者がみられた。

◇高校所在地別

- 白梅学園大学の所在地である「東京都」の高校在籍者からの入学意向は4.0% (3,813人中、**154人**)と、予定している入学定員数を3倍以上上回る入学意向者がみられた。

◇所属クラス別

- 「文系クラス(文系コース)」に所属している回答者の入学意向は4.7% (1,836人中、**86人**)と、予定している入学定員数を上回る入学意向者がみられた。

高校生対象 調査結果まとめ

◇高校卒業後の希望進路別

- ・白梅学園大学を受験・入学する可能性が高い「私立大学に進学」を考えている回答者の入学意向は4.4% (2,988人中、**130人**)と、予定している入学定員数を2倍以上上回る入学意向者がみられた。「国公立大学に進学」を考えている回答者の入学意向は5.5% (1,207人中、**66人**)と、予定している入学定員数を上回る入学意向者がみられた。

◇白梅学園大学「子ども学部」の特色に対する魅力度別

- ・白梅学園大学「子ども学部 教育学科」の特色に魅力を感じている回答者の入学意向は、いずれの特色でも5.8%を超えており、入学意向者数はすべて、予定している入学定員数を3倍以上上回る入学意向者がみられた。

さらに精緻な条件下での白梅学園大学「子ども学部 教育学科」への入学意向者数

※入学意向者の条件をさらに精緻に設定して、Q1で「私立大学に進学」と回答し、かつ、Q2で「教員養成・教育学」に興味があると回答した、白梅学園大学「子ども学部 教育学科」の入学意向者について分析する。

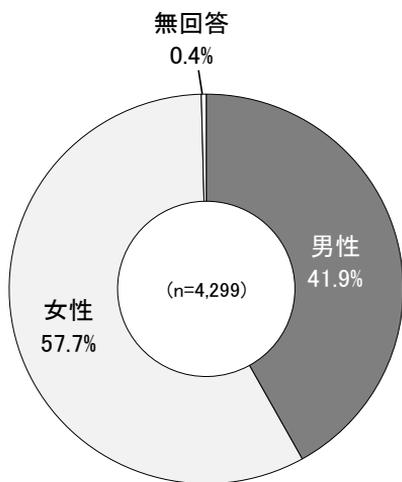
- ・回答者全体における精緻な条件下での入学意向は17.4% (466人中、**81人**)で、予定している入学定員数を上回る入学意向者がみられた。ターゲットの条件をより精緻に限定した場合でも、予定している入学定員数を上回る入学意向者がみられた。

高校生対象 調査結果

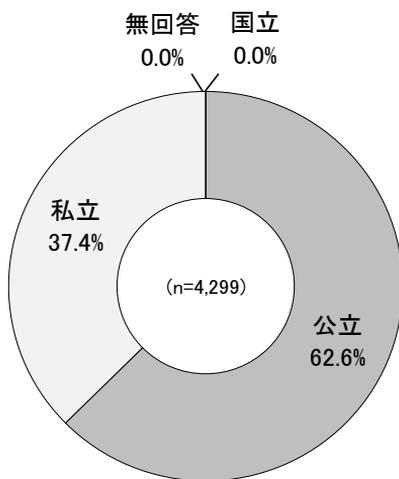


回答者の属性(性別/高校種別/高校所在地/所属クラス)

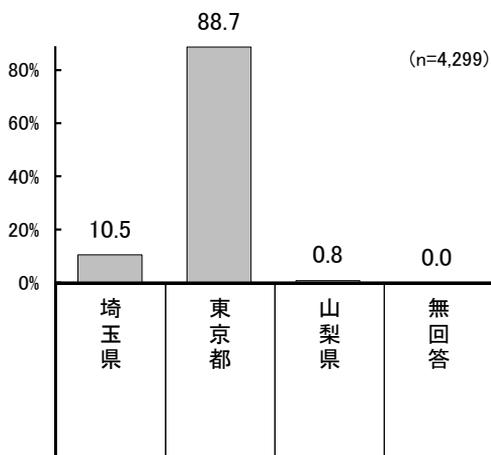
■性別



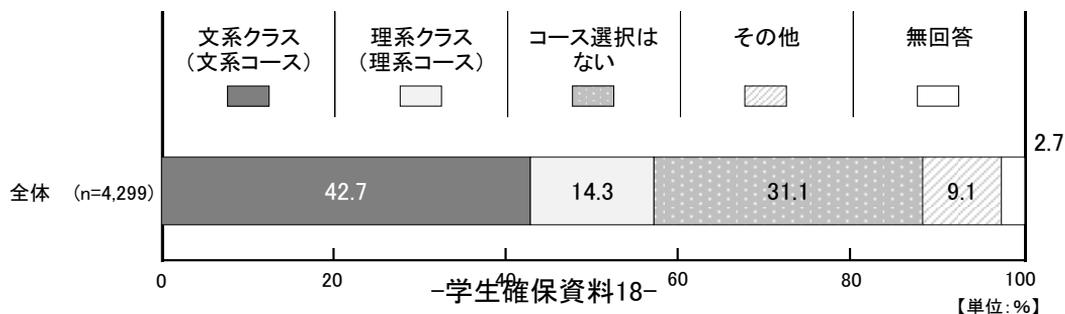
■高校種別



■高校所在地



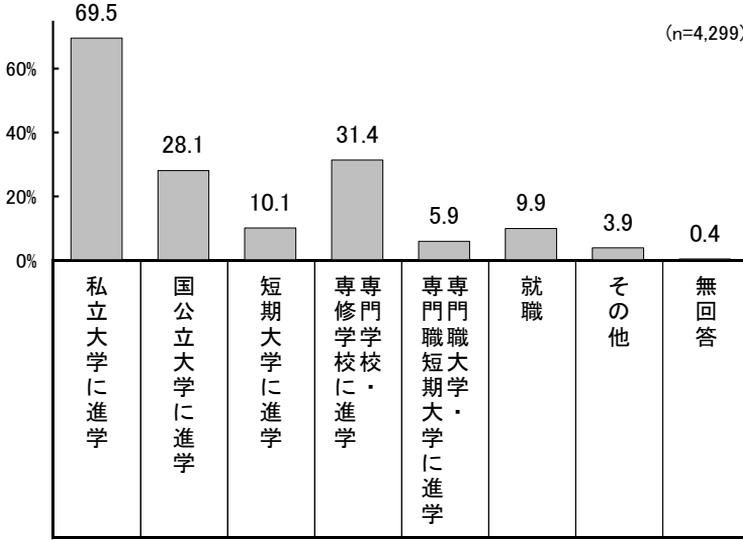
■所属クラス



高校卒業後の希望進路／興味のある学問系統

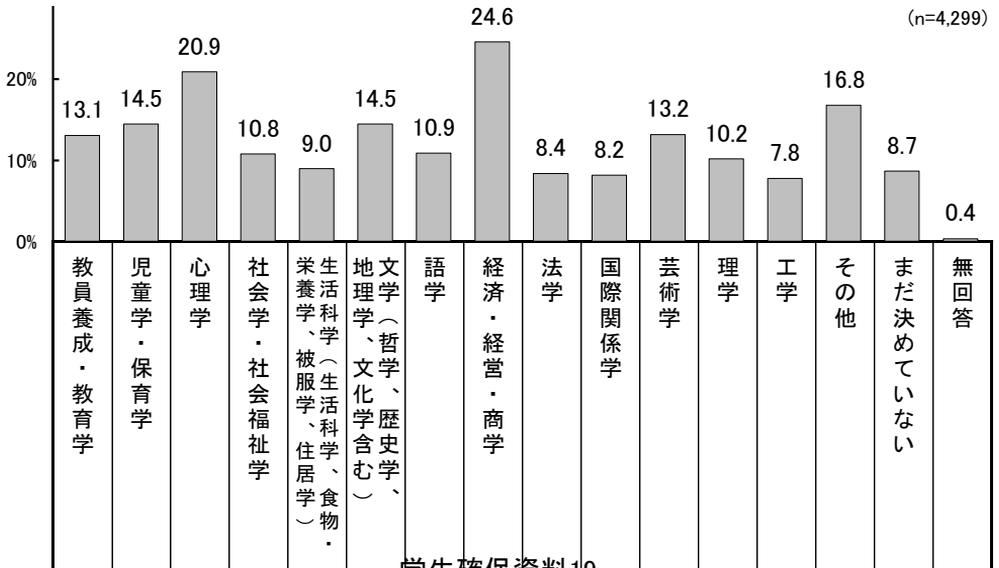
■高校卒業後の希望進路

Q1. あなたは、高校卒業後の進路について、現時点ではどのように考えていますか。以下の項目から、可能性のある口枠すべてに○をつけてください。(いくつでも)



■興味のある学問系統

Q2. あなたは、どのような学問に興味がありますか。以下の項目から、興味のある学問系統の口枠すべてに○をつけてください。(いくつでも)(現時点で進学を希望されていない方も、進学する場合を想像してお答えください。)

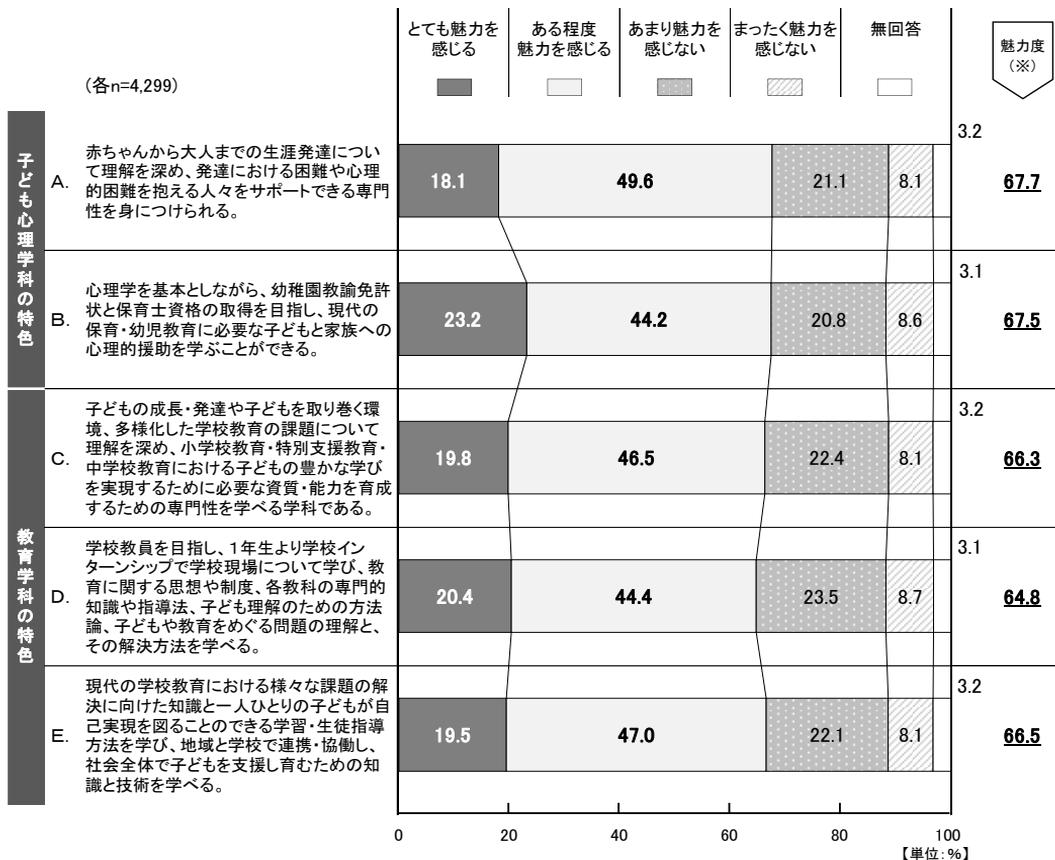


白梅学園大学「子ども学部」の特色に対する魅力度

■白梅学園大学「子ども学部」の特色に対する魅力度

Q3. 白梅学園大学「子ども学部」には、以下のような特色があります。

それぞれの特色について、あなたはどの程度魅力を感じますか。(それぞれ、あてはまる口枠1つに○)



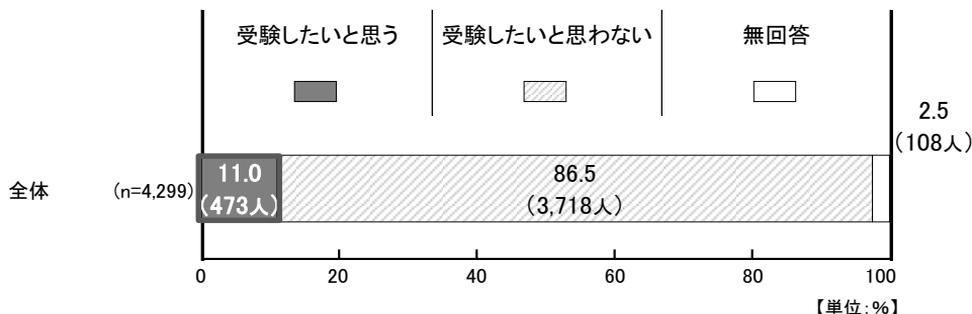
※魅力度＝「とても魅力を感じる」「ある程度魅力を感じる」と回答した人の合計値

※魅力度は、人数をもとに%を算出し、小数点第二位を四捨五入しているため、「とても魅力を感じる」と「ある程度魅力を感じる」の合計値と必ずしも一致しない

白梅学園大学「子ども学部」への受験意向／入学意向／ 受験意向別入学意向

■白梅学園大学「子ども学部」への受験意向

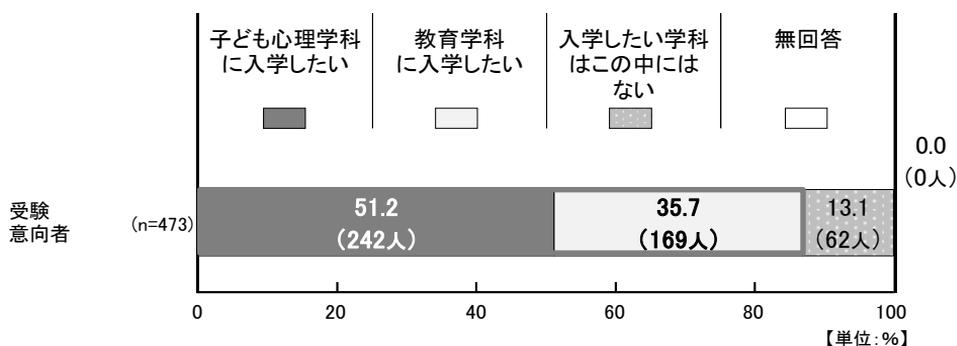
Q4. あなたは、白梅学園大学「子ども学部」を受験してみたいと思いますか。あなたの気持ちに近い方の口枠1つに○をつけてください。(1つだけ)



「受験したいと思う」と答えた473人のみ抽出

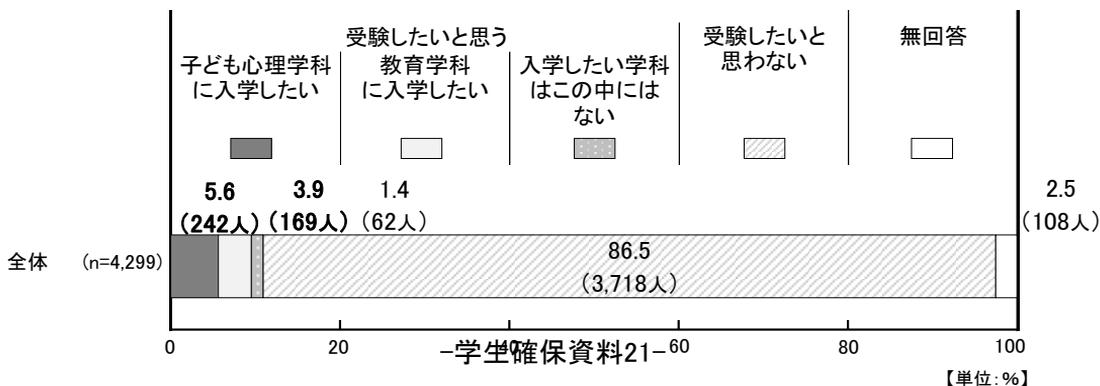
■白梅学園大学「子ども学部」への入学意向

Q5. あなたは、白梅学園大学「子ども学部」を受験して合格したら、どの学科に入学したいと思いますか。あなたの気持ちに一番近い口枠1つに○をつけてください。(1つだけ)



「受験意向(Q4)」と「入学意向(Q5)」を
かけあわせて集計(母数は全回答者)

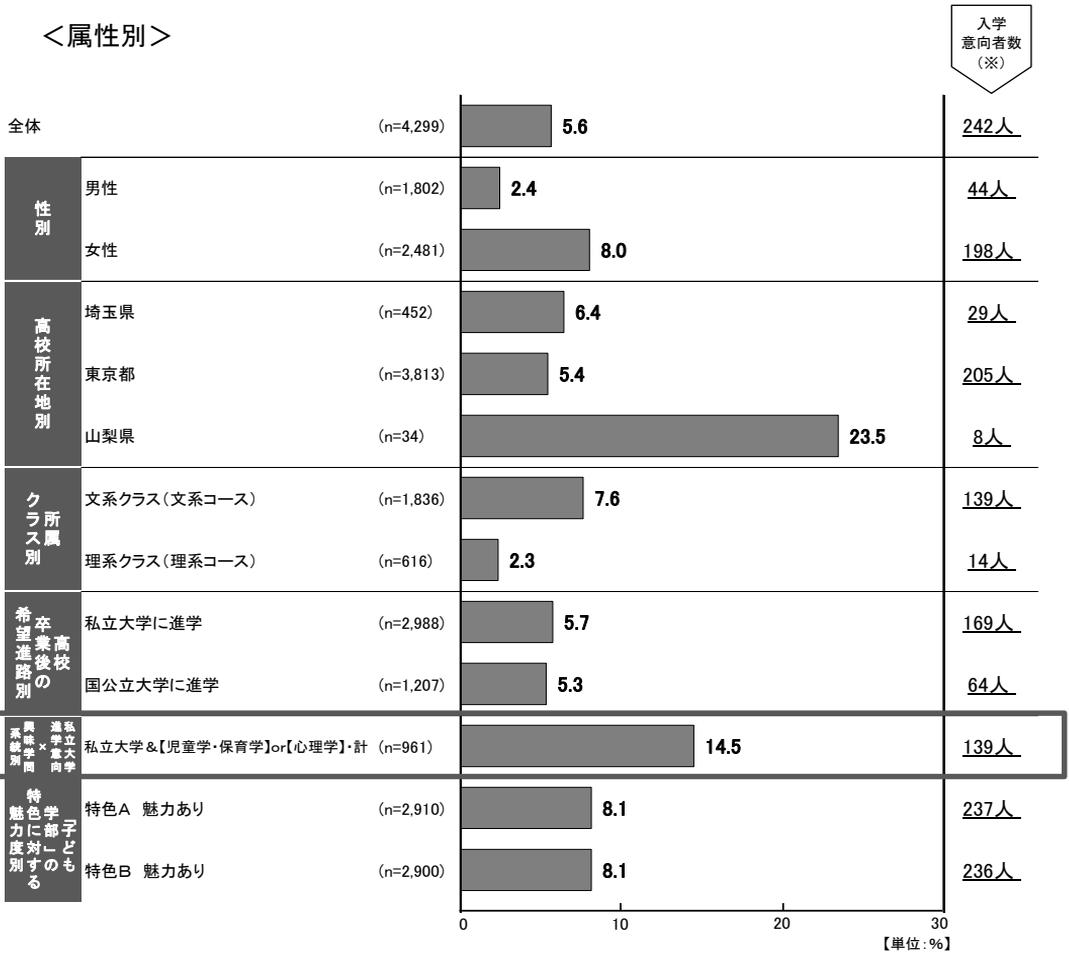
■白梅学園大学「子ども学部」への受験意向別入学意向



白梅学園大学「子ども学部 子ども心理学科」への 受験意向別入学意向<属性別>

■白梅学園大学「子ども学部 子ども心理学科」への受験意向別入学意向 <属性別>

※白梅学園大学「子ども学部 子ども心理学科」に対して、Q4で「受験したいと思う」と回答し、かつ、Q5で「子ども心理学科に入学したい」と回答した人を白梅学園大学「子ども学部 子ども心理学科」の入学意向者と定義する。



※入学意向者数=「受験したいと思う」かつ「子ども心理学科に入学したい」と回答した人の人数

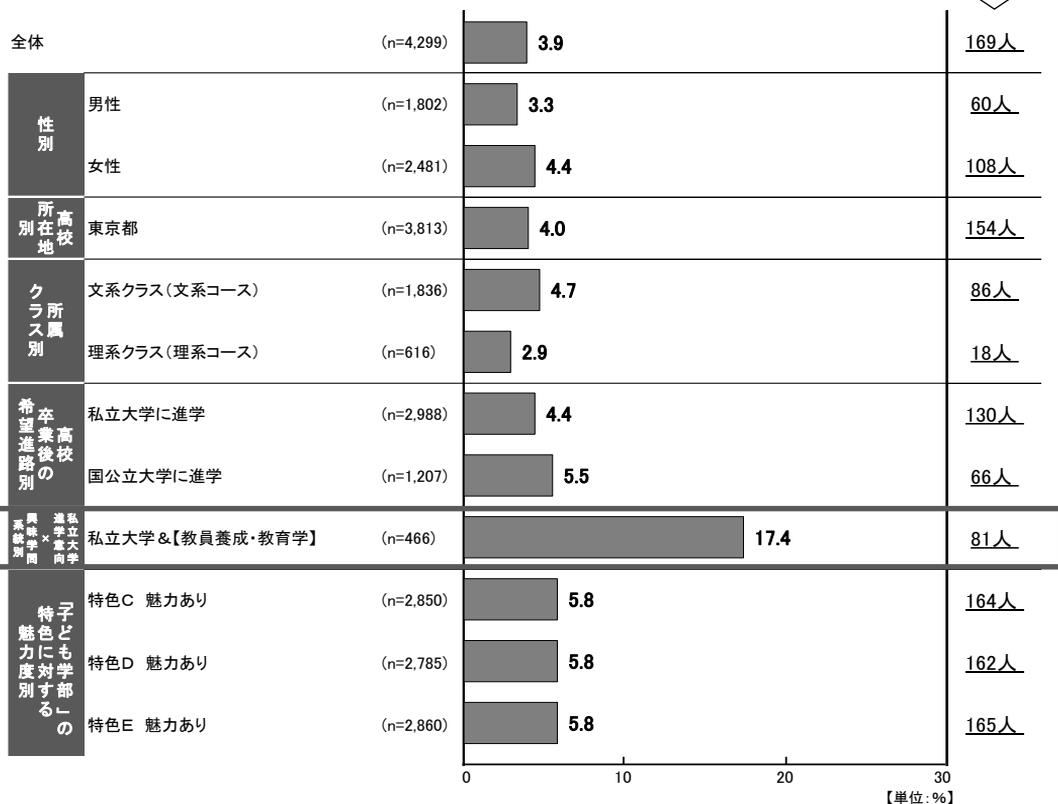
白梅学園大学「子ども学部 教育学科」への受験意向別 入学意向<属性別>

■白梅学園大学「子ども学部 教育学科」への受験意向別入学意向<属性別>

※白梅学園大学「子ども学部 教育学科」に対して、Q4で「受験したいと思う」と回答し、かつ、Q5で「教育学科に入学したい」と回答した人を白梅学園大学「子ども学部 教育学科」の入学意向者と定義する。

<属性別>

入学
意向者数
(※)



※入学意向者数=「受験したいと思う」かつ「教育学科に入学したい」と回答した人の人数

卷末資料 調查票



調査票

◆白梅学園大学「子ども学部」についてお聞きします。

白梅学園大学では、現在高校2年生のみなさんが大学生となる2024年(令和6年)4月に、「子ども学部 子ども心理学科」「子ども学部 教育学科」(いずれも仮称)の新設を構想しています。

※ ここからは、アンケートに同封している資料を見てからお答えください ※

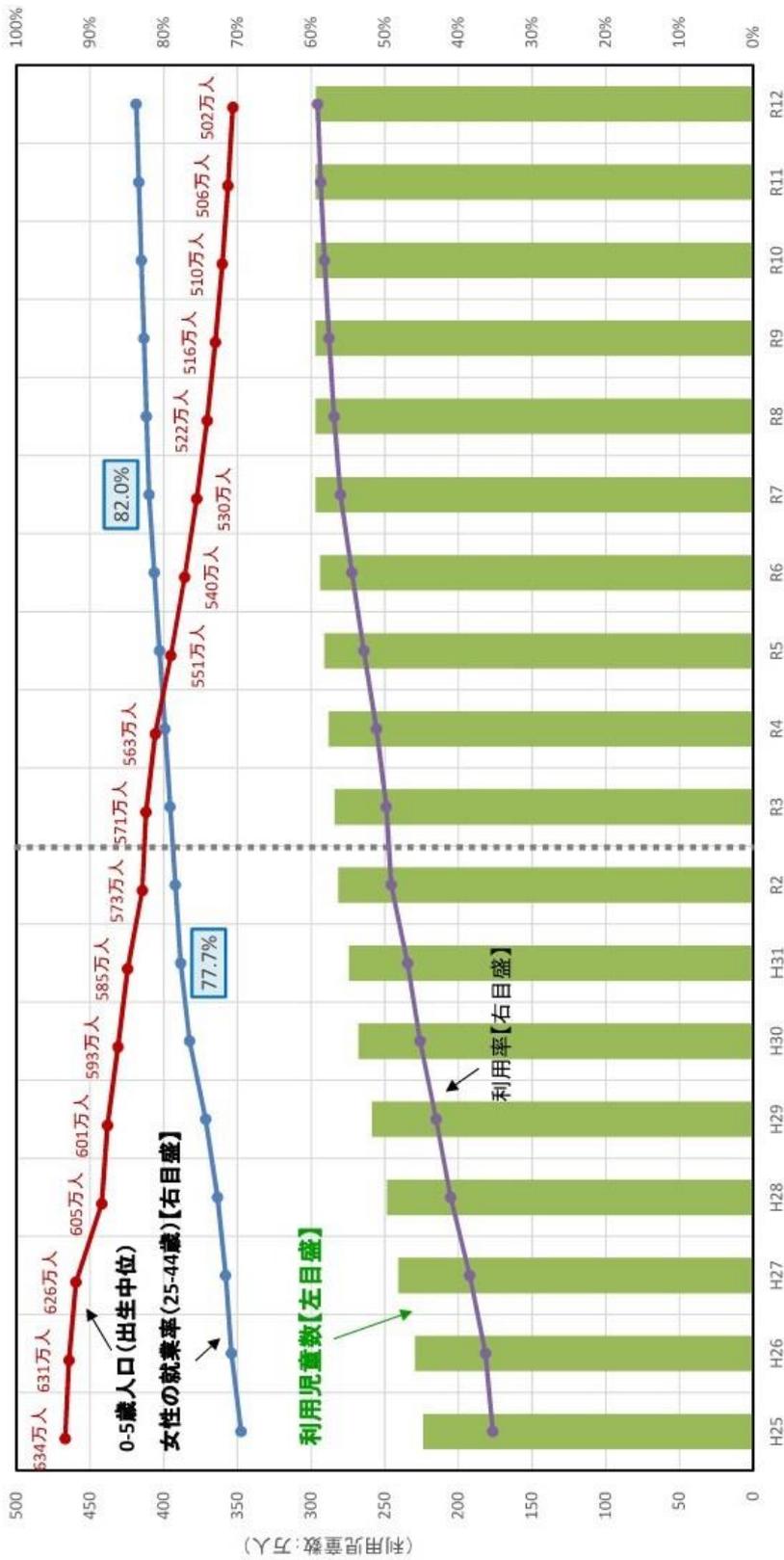
- Q3. 白梅学園大学「子ども学部」には、以下のような特色があります。
それぞれの特色について、あなたほどの程度魅力を感じますか。(それぞれ、あてはまる□枠1つに○)

		とても魅力を感じる	ある程度魅力を感じる	あまり魅力を感じない	まったく魅力を感じない
子ども心理学科の特色	例. ○○である。 →	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	A. 発達における困難や心理的困難を抱える人々をサポートできる専門性を身につけられる。 →	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	B. 心理学を基本としながら、幼稚園教諭免許状と保育士資格の取得を目指し、現代の保育・幼児教育に必要な子どもと家族への心理的援助を学ぶことができる。 →	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
教育学科の特色	C. 子どもの成長・発達や子どもを取り巻く環境、多様化した学校教育の課題について理解を深め、小学校教育・特別支援教育・中学校教育における子どもの豊かな学びを実現するために必要な資質・能力を育成するための専門性を学べる学科である。 →	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	D. 学校教員を目指し、1年生より学校インターンシップで学校現場について学び、教育に関する思想や制度、各教科の専門的知識や指導法、子ども理解のための方法論、子どもや教育をめぐる問題の理解と、その解決方法を学べる。 →	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	E. 現代の学校教育における様々な課題の解決に向けた知識と一人ひとりの子どもが自己実現を図ることのできる学習・生徒指導方法を学び、地域と学校で連携・協働し、社会全体で子どもを支援し育むための知識と技術を学べる。 →	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

- Q4. あなたは、白梅学園大学「子ども学部」を受験してみたいと思いますか。
あなたの気持ちに近い方の□枠1つに○をつけてください。(1つだけ)
- 受験したいと思う 受験したいと思わない
- Q5. あなたは、白梅学園大学「子ども学部」を受験して合格したら、どの学科に入学したいと思いますか。
あなたの気持ちに一番近い□枠1つに○をつけてください。(1つだけ)
- 子ども心理学科に入学したい 教育学科に入学したい 入学したい学科はこの中にはない

*** 質問は以上です。ご協力ありがとうございました。***

【資料10】 保育所の利用児童数の今後の見込み



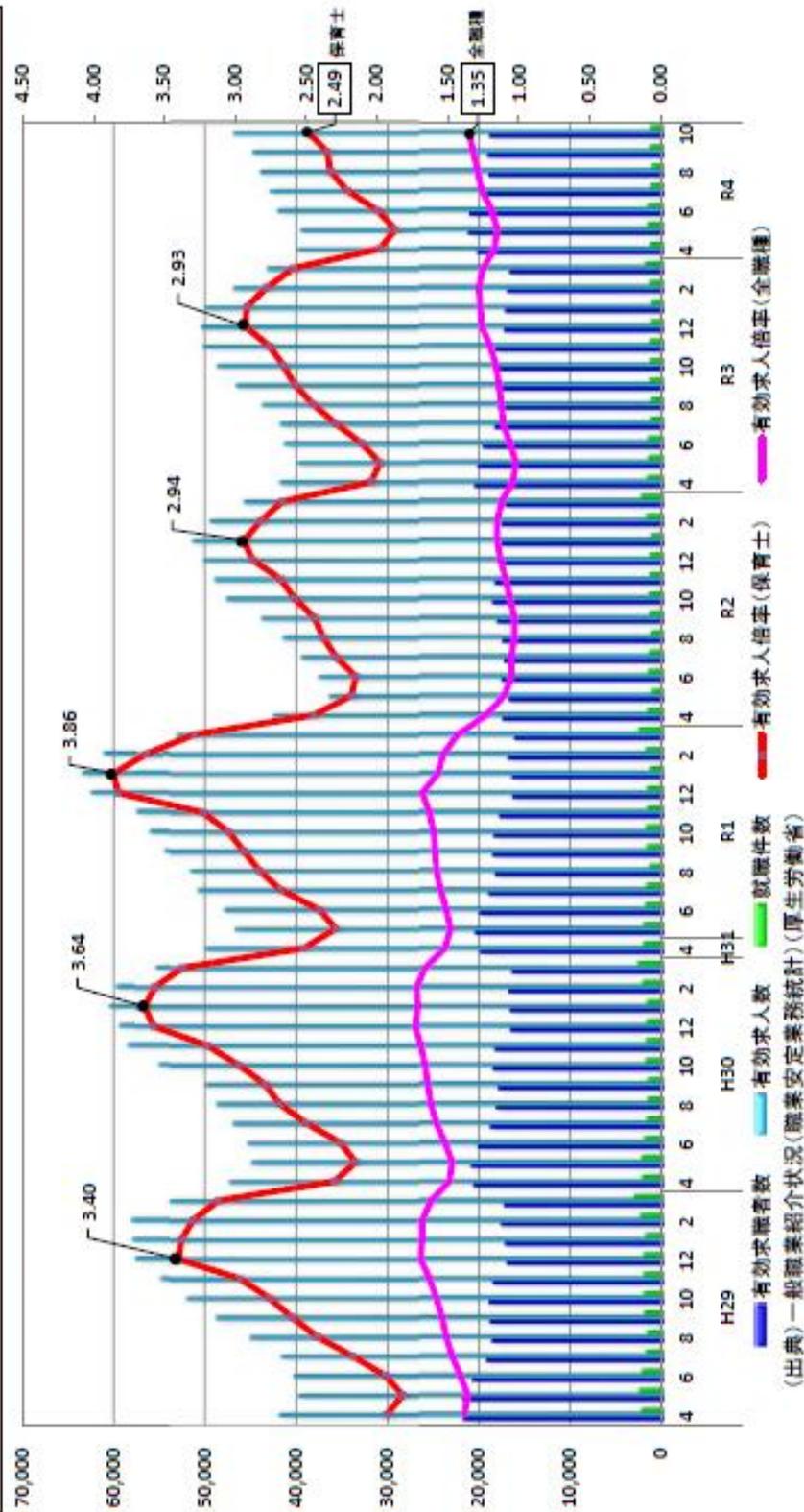
上図の利用児童数は、0～5歳人口を基に、女性の就業率（令和7年：82%、2040年：87.2%）及びそれに伴う保育所等の利用率の上昇を踏まえて機械的に算定したものである。

- ※1 0～5歳人口については、子どもの推計人口（国立社会保障・人口問題研究所）による。
- ※2 女性の就業率については、令和7年に82%との目標（第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略）に対応するとともに、労働政策研究・研修機構「労働力需給推計」（平成31年3月29日、経済成長と労働参加が進むケース）において、2040年で87.2%まで伸びると推計されていることを踏まえて設定。
- ※3 保育所等の利用率については、女性の就業率の上昇に対応するものとして算定。

【資料11】

保育士の有効求人倍率の推移（全国）

○ 直近の令和4年10月の保育士の有効求人倍率は2.49倍(対前年同月比で0.17ポイント下落)となっているが、全職種平均の1.35倍(対前年同月比で0.19ポイント上昇)と比べると、依然高い水準で推移している。

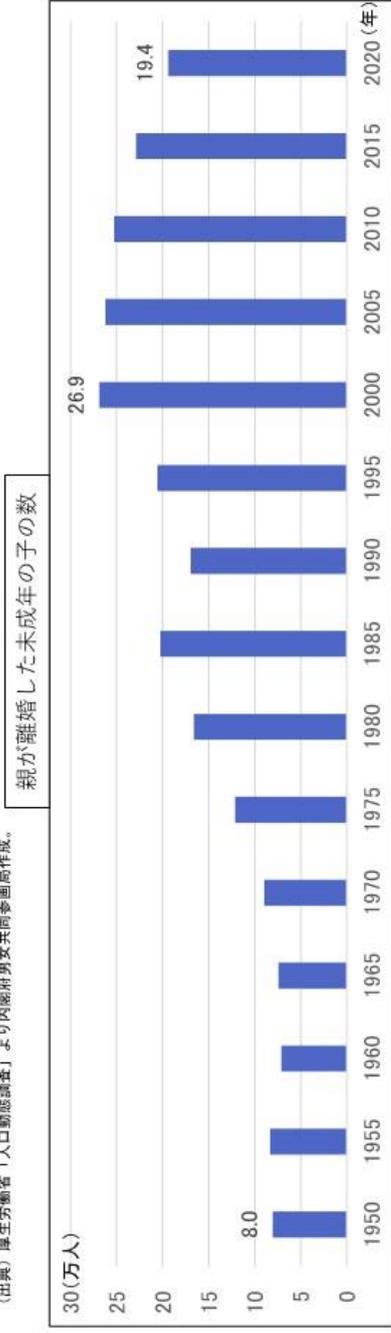


婚姻・離婚の動向③

・親が離婚した未成年の子は毎年20万人ずつ生じており、未成年人口1000人に対する割合は、この20年ほど概ね10で推移している。



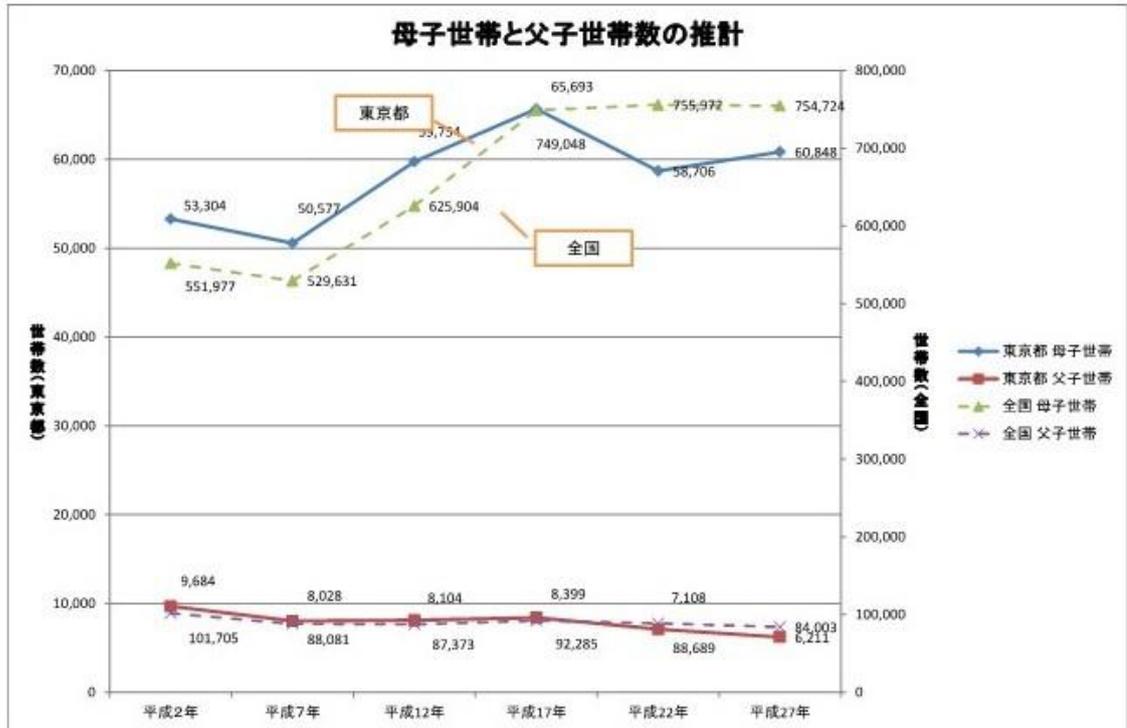
(出典) 厚生労働省「人口動態調査」より内閣府男女共同参画局作成。



(出典) 厚生労働省「人口動態調査」より内閣府男女共同参画局作成。

(引用：「結婚と家族をめぐる基礎データ」内閣府男女共同参画局令和3年11月2日)

【資料 13】 母子世帯と父子世帯数の推計（全国・東京都）

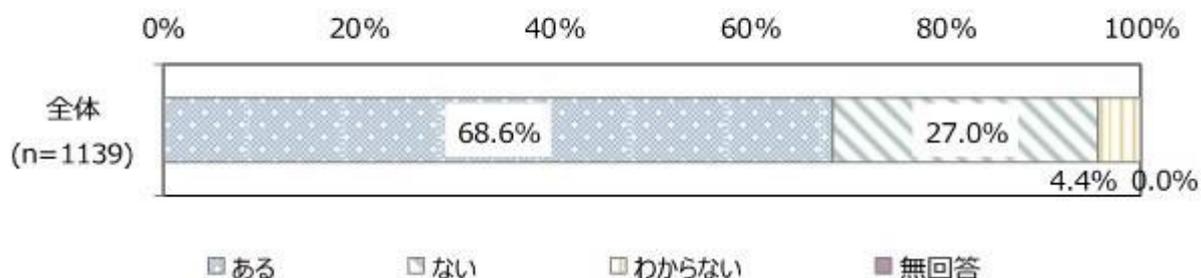


（引用：「直近の調査に基づくひとり親家庭の現状」東京都保健福祉局令和元年5月27日）

【資料 14】

外国籍等の子どもの入園の有無

図表 1 Q2 外国籍等の子どもが入園している保育所等の有無（あてはまるもの1つ）



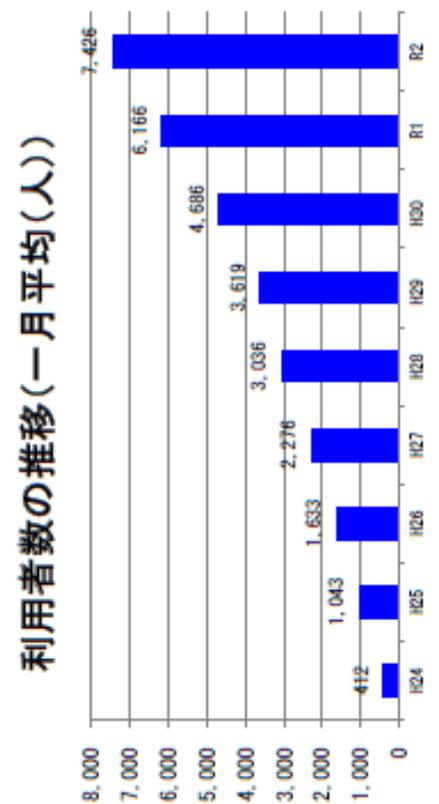
① 外国籍等の子どもを受け入れている保育所等の有無

外国籍等の子どもを受け入れている保育所等の有無をみると、回答のあった市区町村のうち 68.6%が外国籍等の子どもを受け入れている保育所等があると回答していた。

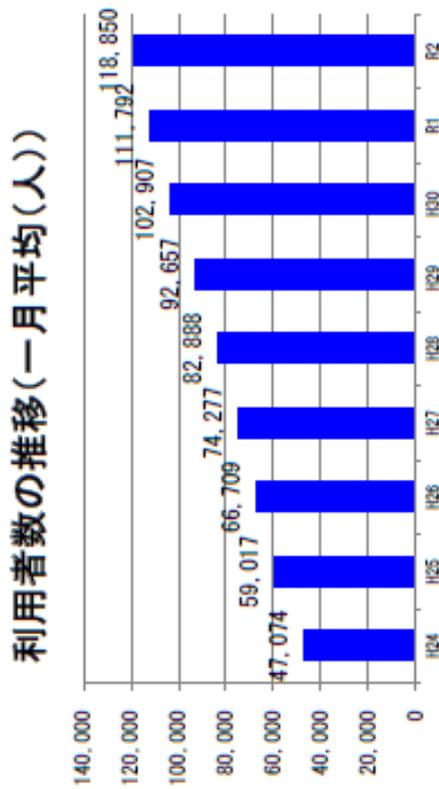
本調査では、当該設問について「ある」と回答した 781 市区町村を対象に、受入れ実態及び実施している支援・サポートの内容、今後に向けた意向について調査を実施した。

（引用「外国籍等の子どもへの保育に関する調査研究報告書」令和3（2021）年3月
令和2年度子ども・子育て支援推進調査研究事業）

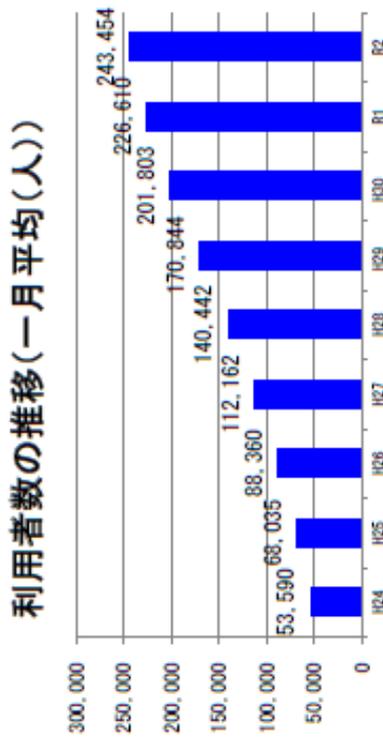
【資料 15】 保育所等訪問支援利用者数推移



【資料 16】 児童発達支援事業所利用者推移



【資料 17】 放課後デイサービス利用者数推移

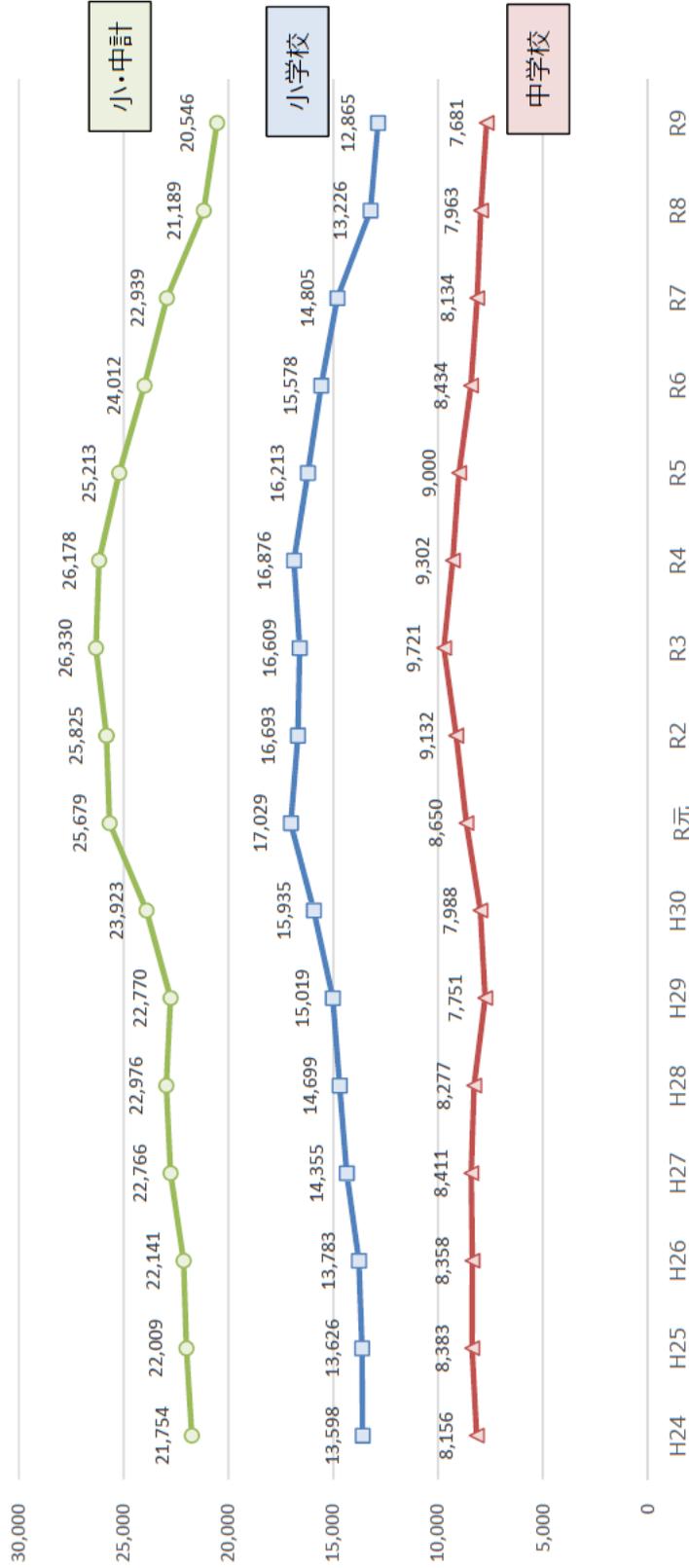


(引用：厚生労働省障害児通所支援の在り方に関する検討会第5回(R3.8.27)参考資料4)

小・中学校の採用者数の推移と見通し

公立小・中学校の採用者数の推移と見通し

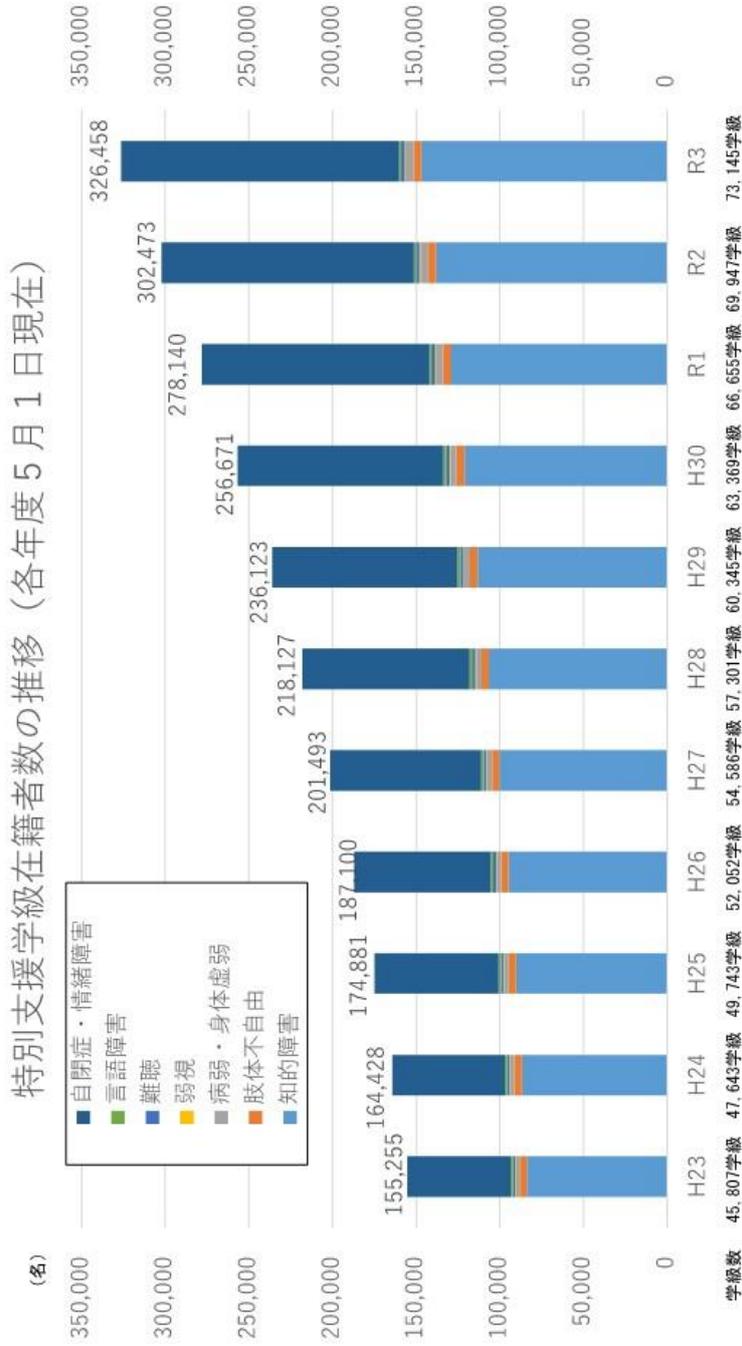
※令和2年度までは実績、令和3年度以降は見通し



(出典) 令和2年度文部科学省調べ
 (注1) 令和2年度までは、「公立学校教員採用選考試験の実施状況」(文部科学省調べ)
 (注2) 令和3年度以降は、令和3年2月時点の都道府県等の推計の積み上げ(初等中等教育局財務課調べ)
 (注3) 兼課教諭等を除く

【資料 19】

特別支援学級の児童生徒数・学級数



【令和3年度の状況】

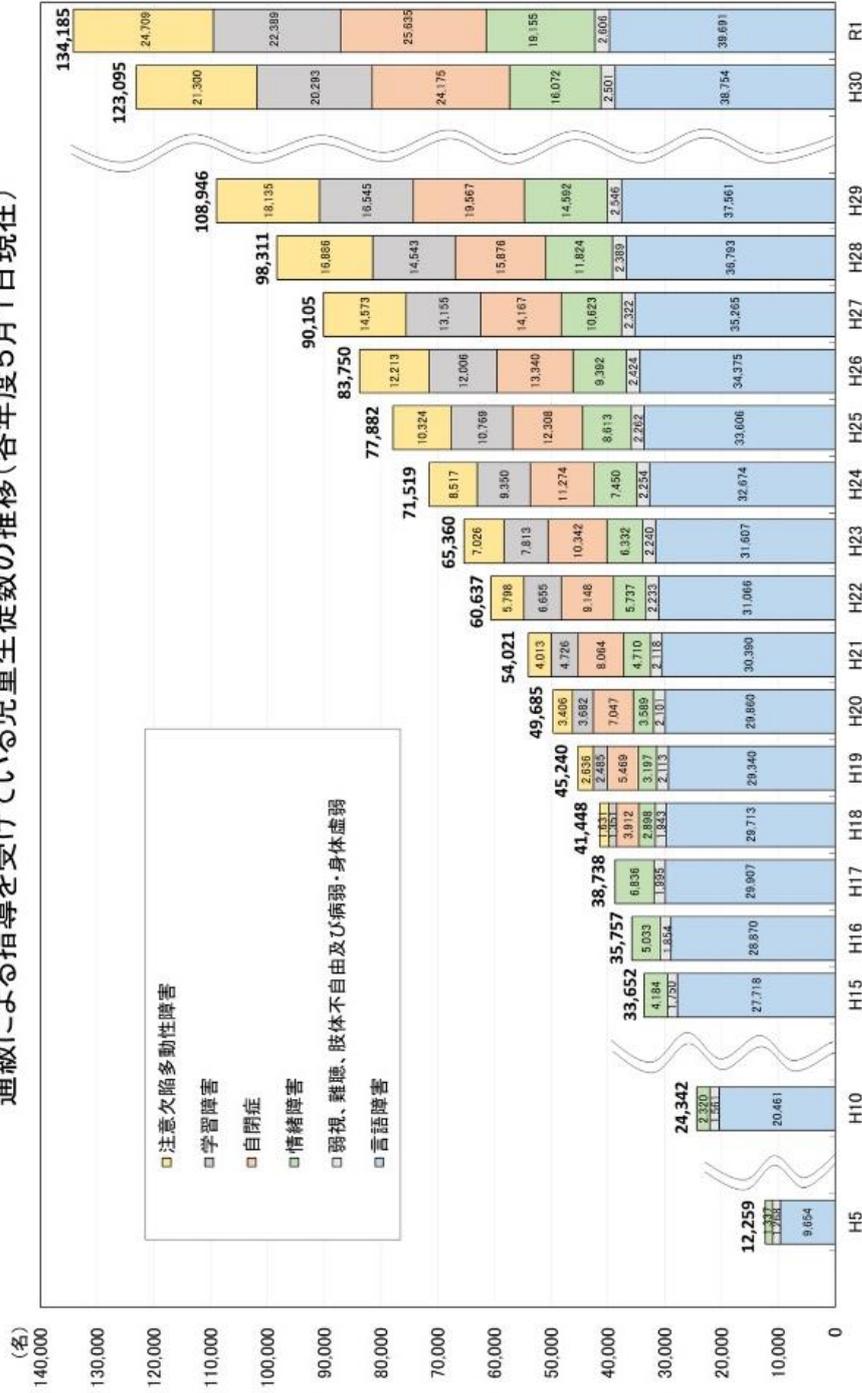
	知的障害	肢体不自由	病弱・身体虚弱	弱視	難聴	言語障害	自閉症・情緒障害	計
学級数	31,227	3,191	2,883	544	1,341	692	33,267	73,145
在籍者数	146,948	4,653	4,618	631	1,931	1,355	166,322	326,458

(出典)学校基本調査

(引用「特別支援教育の充実について」文部科学省初等中等教育局特別支援教育課令和3年9月27日)

通級による指導を受けている児童生徒数の推移

通級による指導を受けている児童生徒数の推移(各年度5月1日現在)



(出典)通級による指導実施状況調査(文部科学省初等中等教育局特別支援教育課調べ)

※平成30年度から、国立・私立学校を含めて調査。

※高等学校における通級による指導は平成30年度開始であることから、高等学校については平成30年度から計上。

(引用「特別支援教育の充実について」文部科学省初等中等教育局特別支援教育課令和3年9月27日)

教 員 名 簿

学 長 の 氏 名 等						
調書 番号	役職名	フリガナ 氏名 <就任(予定)年月>	年齢	保有 学位等	月額基本給 (千円)	現 職 (就任年月)
—	学長	タカダ フミコ 高田文子 <令和3年4月>		教育学修 士		白梅学園大学 学長 <令和3年4月～令和6年3月>

(注) 高等専門学校にあつては校長について記入すること。

審査意見への対応を記載した書類（7月）（本文）

（目次）子ども学部 家族・地域支援学科

1. 既設の子ども学部家族・地域支援学科及び大学全体において、令和4年の改正前大学設置基準第13条に定める専任教員数のうち、半数以上は原則として教授とする規定を満たしていないため、適切に改めること。

（是正事項）・・・・・・・・・・2

(是正事項) 子ども学部 家族・地域支援学科

既設の子ども学部家族・地域支援学科及び大学全体において、令和4年の改正前大学設置基準第13条に定める専任教員数のうち、半数以上は原則として教授とする規定を満たしていないため、適切に改めること。

(対応)

子ども学部家族・地域支援学科における専任教員について、令和5年度より同法人内の教授職位の教員を1名子ども学部家族・地域支援学科に異動を行い、令和4年の改正前大学設置基準第13条に定める専任教員数のうち、半数以上教授(4名)を満たす対応をしている。

新旧対照表

基本計画書（別記様式第2号（その1の1））

新								
教員組織の概要								
	学部等の名称	専任教員等					助手	兼任教員等
		教授	准教授	講師	助教	計		
新	子ども学部 子ども学科	7人 (7)	5人 (5)	2人 (2)	0人 (0)	14人 (14)	0人 (0)	65人 (65)
	子ども学部 家族・地域支援学科	4人 (4)	4人 (4)	0人 (0)	0人 (0)	8人 (8)	0人 (0)	52人 (34)
設	子ども学部 子ども心理学科	6人 (6)	2人 (2)	0人 (0)	1人 (1)	9人 (9)	0人 (0)	54人 (54)
	子ども学部 教育学科	4人 (5)	6人 (6)	2人 (1)	0人 (0)	12人 (12)	0人 (0)	49人 (50)
分	計	21 (22)	17 (17)	4 (3)	1 (1)	43 (43)	0 (0)	- (-)
	なし	0	0	0	0	0	0	0
既設分	計	0	0	0	0	0	0	0
	なし	0	0	0	0	0	0	0
合計		21 (22)	17 (17)	4 (3)	1 (1)	43 (43)	0 (0)	- (-)

旧								
教員組織の概要								
	学部等の名称	専任教員等					助手	兼任教員等
		教授	准教授	講師	助教	計		
新	子ども学部 子ども学科	7人 (7)	5人 (5)	2人 (2)	0人 (0)	14人 (14)	0人 (0)	65人 (65)
	子ども学部 家族・地域支援学科	3人 (3)	4人 (4)	0人 (0)	0人 (0)	7人 (7)	0人 (0)	52人 (34)
設	子ども学部 子ども心理学科	6人 (6)	2人 (2)	0人 (0)	1人 (1)	9人 (9)	0人 (0)	54人 (54)
	子ども学部 教育学科	4人 (5)	6人 (6)	2人 (1)	0人 (0)	12人 (12)	0人 (0)	49人 (50)
分	計	20 (21)	17 (17)	4 (3)	1 (1)	42 (42)	0 (0)	- (-)
	なし	0	0	0	0	0	0	0
既設分	計	0	0	0	0	0	0	0
	なし	0	0	0	0	0	0	0
合計		20 (21)	17 (17)	4 (1)	1 (0)	42 (42)	0 (0)	- (-)

学則の変更趣旨等を記載した書類（10 ページ）

新	旧
<p>(3) 教員組織</p> <p>子ども学部子ども心理学科について、(省略)</p> <p>以上は学科の設置基準上（旧設置基準）の教員数を述べており、学部全体では、ST 比は 22.3 人から 23.8 人と上昇するが、この他に実習指導センター、教職教育・研究センターにおいて実習を指導及び支援する補助教員等を配置しているため、既存の学科等への影響はない。</p> <p>このことから教育の質を担保する教員組織として、十分対応できる体制と考えている。</p> <p>収容定員増加後の配置基準（旧設置基準。1 学部 4 学科収容定員 1,024 名）43 名を配置しており、この教員体制が既存学科等に影響を与えることはない。</p>	<p>(3) 教員組織</p> <p>子ども学部子ども心理学科について、(省略)</p> <p>以上は学科の設置基準上（旧設置基準）の教員数を述べており、学部全体では、ST 比は 22.9 人から 24.4 人と上昇するが、この他に実習指導センター、教職教育・研究センターにおいて実習を指導及び支援する補助教員等を配置しているため、既存の学科等への影響はない。</p> <p>このことから教育の質を担保する教員組織として、十分対応できる体制と考えている。</p> <p>収容定員増加後の配置基準（旧設置基準。1 学部 4 学科収容定員 1,024 名）42 名を配置しており、この教員体制が既存学科等に影響を与えることはない。</p>